令和５年度　同 窓 会 報 告

母校への支援

卒業記念品
　卒業証書フォルダー（卒業生全員）

共通テストへの応援
　ブラックサンダー（卒業生全員）

地域貢献活動費
（美和高マインド）費　10万円

“なんとかなるわ～
要は気合い”

「美和高マインド」
第２回会合の様子。
１年生の総合での
探究学習結果を報
告しました。

事業報告

令和５年７月８日
　第１回役員会
令和５年９月４日
　同窓会報の発行
令和５年10月７日
　第２回役員会
令和５年11月11日
　同窓会総会・懇親会
（ＫＫＲホテル名古屋）
令和６年１月12日
　共通テスト激励
令和６年２月29日
　同窓会入会式
（卒業記念品贈呈）

令和５年度　愛知県立美和高等学校同窓会会計決算書

収入済額　13,961,619円
支出済額　 1,648,754円

差引残額　12,312,865円（令和６年度へ繰り越し）

収入の部

科　目	収入済額	摘　　　要
会　　費	1,360,000	終身会費 8,000円（39回生 170名）
周年事業積立金	340,000	積 立 金 2,000円（39回生 170名）
繰 越 金	12,243,663	令和４年度より繰越
諸 収 入	17,956	預金利息、39回生学年会計寄付金、総会反省会の会費等
計	13,961,619	

支出の部

科　目	支出済額	摘　　　要
運 営 費	1,417,786	
会 議 費	2,422	役員会等諸経費（ペットボトルお茶）
需 用 費	86,680	同窓会報等作成経費
通 信 費	688,364	同窓会報、役員会・総会案内等通信経費
総 会 費	562,330	同窓会総会、懇親会等関係経費
名簿管理費	77,990	同窓会会員データメンテナンス料金
事 業 費	230,968	
行 事 費	28,088	受験生激励用ブラックサンダー購入代
諸　　費	202,880	卒業証書用フォルダー代、地域貢献活動費（美和高マインド）
計	1,648,754	

新規会員の声／39回生

「高校から大学へ」

猪飼 暸斗

　美和高校を卒業し、大学に入学してから約四ケ月が経ちました。最初は不安ばかりでしたが、大学に行ってみるとそのような不安は一瞬にして無くなりました。僕はスポーツ系の大学に通っているのですが、僕が通うキャンパスにはスポーツ科しかありません。したがって、どのスポーツをしているのかをお互いに話しているうちに、仲の良い友達が増えていきました。

　また大学は、高校と違って授業時間が90分になります。はじめは長すぎると思っていましたが、自分が好きなことを学んでいると思うと、あっという間に時間が過ぎていきます。スポーツ科ということもあり、一日に２限（180分！）実技科目が続く曜日もあります。しかし、今まで体験したことのないスポーツと関わることが出来ているのでとても楽しく学べています。

　ところで、僕は美和高校を卒業する時は大学でサッカー部に入ろうと決めていましたが、今は地元の社会人チームでサッカーをしています。自分がやりたい時に、自分が好きなタイミングでサッカーをすることが出来ているのでとても満足しています。

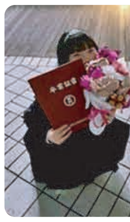
　さて、僕たちの高校生活を思い返してみると、残念なことに三十九回生はコロナ禍の中で始まりました。したがって、生徒全員がマスクをしていて顔と名前が一致しないことが多々ありました。また、新型コロナウイルスによる生活の制限によって学校行事などが自分たちにとって納得いかないような中止・縮小においこまれるようなこともありました。また時には、感染者続出によって突然の学級閉鎖もおきたりしました。このように僕たちは以前のような伸び伸びとした生活が送ることができない高校生活で大変な日々を送っていました。しかし、自宅学習期間を逆手にとって、友達とスマホを使って通話をしたり、夜更かししたりしていたあの日々は、今となっては懐かしい思い出です。

　最後にはなりますが、僕たちにはこれからの生活でいろいろなことで行き詰まることもあるかと思います。そのような時は一人で抱え込まず、周りの人を巻き込んで解決していきましょう。そして、お互いに楽しく充実して貴重なかけがえのない時間をつくっていきましょう。僕はそのような四年の大学生活にしていきます。

みんなも頑張れ！

「大学生になって」

早川 美優



　三十九回生として、愛知県立美和高等学校を卒業し、自分の行きたい大学へと進学をし、約四ケ月が経ちました。毎日楽しい日々を過ごしておりますが、時々高校時代が懐しく思われます。

　高校生の頃に想像していた大学生活とはいくつか違う点があり、戸惑うこともあります。しかし、やはり出会う人達は皆、自分と価値観や考え方が似ている人ばかりなので、お互いに助け合いながら生活を送っています。

　大学では、高校生の頃は経験することができなかったことを、たくさん経験することができるようになり、自分の新たな一面を見つけることができました。大学生の前期を終えて学んだことは、「目標や目的を持って行動することで、意味のあるものになる」ということです。大学の講義は高校とは違い、自分の学びたいことを専門的に学ぶことができます。私はすごく楽しくて学びがいがあると日々感じています。それと同時に、内容が難しいといった点や、周りのレベルについていけないといった点があります。そこで、どのようにしたら一回一回の講義を自分のために受講することができるのだろうと考えた際に、「今日の講義では、この内容をしっかり理解しよう」などと、目標を立ててから講義を受講することが大切だと感じました。

　高校生の頃は感じることのできなかった考え方を、大学生になって感じることができ、とても嬉しく思います。したがって皆さんも是非色々なことに挑戦してみてください。

　今年度は、文化祭に幅広い人に来校してもらうことを考えていると伺いました。在校生の皆さんも楽しみにしていることでしょう。このように地域の方との連携を大切にし、この素晴らしい美和高等学校をたくさんの人に知ってもらう機会をもっと増やしていってほしいと考えています。もちろん同窓生である私たちもこの母校の取組に応援していかなければならないと強く思っています。

　最後に今よりも活気のある美和高等学校になっていくことを願っています。